

平成２２年 第４回（６月）志免町議会定例会一般質問通告書

通 告 順

番号	質問者	質問時間	件 名	要 旨	具 体 的 質 問 内 容	質問の相手
1	堤 久美子	30分	1. 広域連携。	(1) 協働のまちづくりを。	① 6町間ではかすやの緑・健康・交流マップを作成されている。 i マップを作った意図は。 どのように活用していかれるのか。 (点を線で結んで面にすること) ii ガイドボランティアの育成が必要ではないか。 iii 広域で観光ルートを作る計画を。	町 長 担当 課 長
				(2) 男女共同参画のまちづくりを。	① 糟屋郡では男女共同参画の取組み（行動計画・条例づくり）が他市町と比較して遅れを取っている。 i 広域で取り組む必要性は考えられないか。	町 長 担当 課 長
				(3) 福祉計画。	① 高齢者保健福祉計画は短期計画であり、中長期福祉計画が重要である。団塊世代が高齢期に到達する（平成27年）という状況をどのように対応されていかれるのか。 i まず、単町で福祉計画を立てる。 ii 6町で病院間・公共施設間を走らせるバスの検討等、広域で取り組む課題の共有は。	町 長 担当 課 長
2	牛 房 良 嗣	30分	1. 「情報の共有化」行政の発信機能と受信機能を検証し、性能の向上をはかれ。	(1) 町づくりの原点。 町民と行政が情報を共有することから始まる。	① 「行財政再構築プラン」にかかげる情報共有化の改革の5年間の取組みと成果について問う。（具体的に） ② 情報共有化のための i 行政から町民への情報の発信は。 ・ H21 年度の実績を問う。 ・ 町全体の問題。 ・ 担当課の重要問題。 ・ アンケート、出前講座等々。 ii 今年度の課題はなにか。町民から行政への発信について問う。 ・ 審議会、行政委員会ほか（会の数と人数） ・ 団体関係 町内会、老人クラブ、農区、商工会、体育協会・文化協会 iii 役場内の窓口来庁者。（月、年間人数） 架電数は、その他ご意見箱。	町 長 担当 課 長 町 長 担当 課 長
				(2) ことばの氾濫とことばの一人歩き。 情報開示説明責任、自己決定、自己責任、協働のパートナーシップ等々。 (3) 情報の共有化とは町民に求めるものでなく、行政側の問題である。 (4) 即ち行政から町民へ発信される情報と、逆に町民から行政へ発信される情報とがあるが、一番の問題は行政の発信、受信の機能をいかに向上させるかにある。 (5) 町づくりの原点である情報は庁内 400 人の職員の脚下にある。	③ 行政の受信、発信情報を整理し、民意をつかむための方策、仕組づくりについて問う。	町 長
3	大 西 勇	30分	1. 学校教育について。	(1) 発達障害児への教育支援について。	① 特別支援教育がスタートして3年が経過したが我が町では何がどう変わったのか。 その成果について。これからどう推進して行くと考えられているのか。具体的な取り組みについて。 ② 保護者と学校・コーディネーターの情報の共有について。 ③ 連携について。	教 育 長
				(2) 特別支援について。	① 特別支援学級ではどういう支援教育をされているのか。 ② 先生と保護者の唯一の情報交換である連絡帳について。 ③ 担任の交代について。 ④ 発達障害児の支援に対して大げさとか、このくらいでいいという事は絶対がない。親は我が子の将来を不安に思いながら毎日を暮らしておられる、子供と同じくらいに保護者のケアの体制作りも大事であり、支援するにあたっては我が子との思いで、支援教育を推進していただきたい。	教 育 長 町 長

				(3)発達障害の早期発見について。 (4)通級教室の現状について。 (5)文科省からの通達について。 (6)不登校の一因と言われている「脳脊髄液減少症」について。 (7)不登校対策について。	⑤支援学級の障害児の情報が全くないがその相談窓口は。(支援学級以外で授業を受けられる施設等の情報) ⑥支援学級の担任教員の現状、その採用基準、研修等の状況。 ①本町では4ヶ月・1歳半・3歳・就学時に検診を行っているが、広汎性障害を発見できるのは5才の時だと言われております。本町は行っておりませんが、その対応はどうされているのか。 ①通級学級の現状はどのような形態で運営されているのか。その成果は？ ②南小や東中にある通級教室のようなものがシーメイトでできないのか？ ①文科省から「学校におけるスポーツ外傷等の後遺症の適切な対応」について、本町での対応は。 ②スポーツ外傷等を受けた児童生徒の状態変化に対し、その実態把握はされているのか。 ③この件について、教職員・養護教諭・カウンセラーなど関係者の研修はされているのか。 ①この病気についての保護者への周知をしていただきたい。また、小中学校にこの病気を説明した小冊子・DVDを置いて活用していただきたい。 ②不登校と見なす30日以上欠席者だけではなく休みが多い子供や何かの身体的事故にあった子供等もう一度こう言う観点から調査していただきたい。 ③「脳脊髄液減少症」について、ホームページや広報、庁舎やシーメイトなど公共施設にチラシを置いて住民への周知について。 ④この病気のガイドライン設定や保険適用などを国に求めてすでに全国の都道府県は要望書を出しておりますが、市町村の取り組みがまだ行われていないという事です。 是非我が町において単独でも要望書を出していただきたい。 ①本町の不登校が少し増加しているがその原因はつかんでおられるのか。 ②「中1ギャップ」の不登校対策として、また授業に質の向上対策として小学校の「学級担任制」から5, 6年の高学年を中心に中学校と同様の「教科担任制」について。	教 育 長 担 当 課 長 教 育 長 教 育 長 町 長 教 育 長
4	丸 山 真 智 子	3 0 分	1. 南里たつみ町長の公約について。	(1) 任期が残り1年となり、公約の中から検証します。	①安全・安心な環境づくり。 議会による水害実態調査後の対応について。 i 南小校区 避難場所、土のうの準備、ガードレールの設置 ii 西小校区 車の避難場所、別府二と三の排水路改善、毛布等の貸し出し、町内会との連絡体制、防災マップを使い連合会と研修をしたらどうか。 iii 中央小校区 防災無線、南里三の抜本的対策。 iv 東小校区 田富下深、東区の抜本的対策。 v 内水対策の中期・長期計画はあるのか。福大の仮設サッカー場を研究していただきたい。 vi 自主防災組織のモデル町内会をお願いしたらどうか。 ②ファミリー農園・ふれあいファームの拡充。 実現に向けてどのような取り組みをされたのか。 耕作放棄地の解消につながると思うが。 ③男女共同参画社会づくりの推進。 育児、介護休業法が改正される。まず、役場から育児休業取得率を上げて手本を示すことが大切。男女の取得率の目標と課題。	町 長

			2. ふるさと納税制度について。	(1) 制度を活かして町をもっと元気に。	①平成20年(2008年)4月に公布された「ふるさと納税」について。 志免町の取り組みは。 i 寄付が集まるのを待つのではなく獲得する姿勢が必要では。堅坑槽の保存活用のためにもっと寄付を呼びかけたらどうか。 町長は橋下知事のようにPRしているのか。 ii ふるさと納税応援サイト「ふたくす」の登録	町長
5	吉住龍太郎	30分	1. 元リサイクルセンター跡地について。	(1)再利用の計画は。		町長
			2. 志免町の交通問題について。	(1)将来的にどの様に認識されているのか。	①町長は将来的にどの様に考えているのか。 ②地下鉄の延線と隣接町との話し合いはなされているのか。	町長
			3. 福祉施設シーメイト近辺の活用について。	(1)シーメイトについて。 (2)ボタ山について。 (3)多目的グラウンドについて。	①年間1億円と言われる経費過剰、いわゆる赤字問題について。 ①ボタ山の活用方法は。 ①どの様な方法で利用者を増やそうと考えているのか。	町長
6	助村千代子	30分	1. 志免町ならではの取り組みを。	(1) 就労支援機関の創設を。 (2) 教育費のかからない町に。	①一昨年のリーマンショック以来、長引く不況で失業や就職が決まらない学生が、多くいるという現状を少しでも打破する手助けを町としても、考えるべきと思いますが町長の見解は。 ②志免町民の就労支援のための無料職業紹介所の設置を考えては如何か。 ①新入学の際全員が購入する算数セットなど保護者が負担する費用の軽減の取り組みを。 i 算数セット、学校引き出しは個人購入ではなく、備品として貸し出しにはできないのか。 ii 中学校の制服リユース(再利用)の仕組み作りを。	町長
			2. 誰もが自立し安心して暮らせる福祉施策の推進を。	(1) プライバシー情報や生活情報を視覚障がい者の方々に提供する手段として情報バリアフリーの推進が必要。	①視覚障がい者のための情報バリアフリーの促進について。公的窓口に活字文書読み上げ装置の設置・音声コードの活用と職員などを対象とした研修会の実施を(国の全額補助)。	町長
			3. いのちを守るための施策を。	(1) 子宮頸がんをはじめ、検診やワクチンで病気の発症を、未然に防ぐことができるものは対策を講じるべきと考えます。	① 子宮頸がん発症「ゼロ」への取り組み。 i 21年度の子宮頸がん、乳がんの受診率は・・・またがん検診無料クーポン券の利用率と成果は。 ii 受診率50%をめざした新年度の取り組みは。 iii 子宮頸がんワクチンの公費助成への取り組みについて。 ②がん検診の拡大。 i がん検診の対象年齢が変わった理由は。 ii 対象年齢の拡大を。 ③母子感染を防ぐための、成人T細胞白血病ウイルス1型の抗体検査について。 i 妊婦健康診査時に抗体検査の導入と公費助成を。 ii 情報の発信と啓発を。	町長
7	二宮美津代	30分	1. これまでの一般質問事項の取り扱いについて。	(1)どのような対応がなされたのか。	①行政図書室の設置。 ②子宮頸ガンワクチンの助成。 ③父子手帖の作成。 ④20歳の20冊。	町長
			2. 視察研修を施策に活かすとりくみ。	(1)発達障害児の支援拡充	①軽度発達障害などの把握。 ②5歳児健診の実施。 ③臨床心理士の常勤採用。 ④関係課の連携。	町長
			3. 子ども読書推進のとりくみ。	(1)子ども司書認定制度。	①子ども司書講座の開講。 ②「読書のまち志免宣言」。	町長 教育長

8	末 藤 省 三	3 0 分	1．福祉。	(1)介護保険について。	①介護保険メリット論（１０項目）の検証について。 ②現在の介護保険の問題点は何か。 ③介護認定引下げでどのようなことが起きているか。 （軽度判定） ④介護保険減免制度。	町 長 担 当 課 長
				(2)後期高齢者医療制度。	①後期高齢者医療制度保険料金の値上げと対策。 ②高齢者の国保加入 65 才からの問題点と対策。 ③保険証のとりあげやめよ。	町 長 担 当 課 長
			2．健康。	(1)メタボ健診。	①メタボ健診の受診率の低下の問題点と対策。 ②ヒブワクチン接種化の実施（小児髄膜炎）。 ③脳脊髄液減少症等の対応と対策。	町 長 担 当 課 長
				(2)インフルエンザ。	①インフルエンザ対策（新型インフルエンザも含めて）。 ②子宮内膜症の対応と対策。 ③介護職のタン吸引実施の問題点について。	町 長 担 当 課 長